

2025WORLD ROWING UNDER23 CHAMPIONSHIPS REPORT 2 (7/19,20)

7月19日(土)

前日のコース入り初日が順調だったので、この日はトレーニングに意識を向けることができました。ただ、レンタルボートの状態や、セッティングの微調整があったため、コーチ陣が早めにコースに行きセッティングを先に進めるなどの対応をしました。

この日は午前の練習を速い時間帯に行うなど、選手同士で話し合ったスケジュールで進めましたが、細かい課題にも一つ一つ対応しながら、時差調整と大会への準備を着実に進めることができました。また、この日の午後は、これまでの20℃を割るような気候が嘘のように強い日差しと気温の上昇がありました。選手・スタッフ共に元気に活動しております。



ワークハイトを確認する上野コーチと、BM2x川上選手(早稲田大学)。



颯爽と水上に繰り出すBM1x永坂選手(東レ滋賀)。



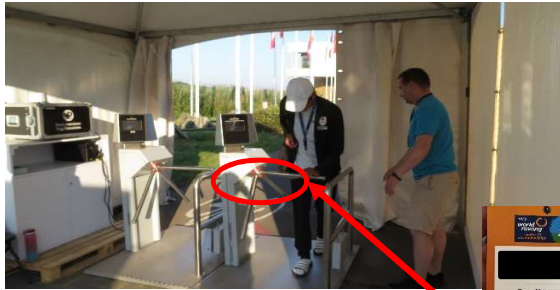
レンタルボートの気になる点もスムーズに解決し、トレーニングに集中するBM2xクルー。左から S川上選手(早稲田大学)、B石井選手(日本大学)。



気温が上がる中、集中力を保ち調整をするBW2xクルー。左から S清水選手(関西電力)、B浅井選手(新貞山RC)。

7月20日(日)

コースオープンとなったこの日、会場では各サービスが一斉に開始となりました。また好天に恵まれ気温が上昇する中、U23日本代表チームは周囲の環境を確認しつつ、自分たちのやるべきことに集中し大会への準備を着実に進めております。



会場入り口のチェックでは、ADカードに記載してあるバーコードを毎回かざして入退を行うようになりました。



早朝から多くのボランティアが集まり、大会を支えてくださっております。写真はBag storageのボランティアスタッフのミーティングの様子。



長いレンジで力強く艇を進めるBM1x永坂選手(東レ滋賀)



タイム差付の並べで1000m×1を行うBW2xクルー(奥:左から B浅井選手(新貞山RC)、S清水選手(関西電力))とBM2xクルー(手前:左から B石井選手(日本大学)、S川上選手(早稲田大学))。

この日の午後はOffだったため、各自思い思いの時間を過ごしリフレッシュし、大会に向けての英気を養いました。